

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

製品名	福岡八女配合9号ペレット		
整理番号	DNS-011193023		
作成日	2026/02/03		
販売者の会社情報	会社	:	全国農業協同組合連合会
	担当部署	:	耕種資材部
	住所	:	〒100-6832 東京都千代田区大手町1-3-1 JAビル33F
	電話番号	:	03-6271-8285
	Fax番号	:	03-5218-2536
	電子メールアドレス	:	zz_hiyaku-gizyutsu@zennoh.or.jp
	緊急連絡電話番号	:	03-6271-8285
推奨用途	肥料		
使用上の制限	肥料用途以外には使用しないでください		

2. 危険有害性の要約

【GHS分類】

物理化学的危険性

分類基準に該当しない。

健康に対する有害性

急性毒性（経口）	:	分類できない
急性毒性（経皮）	:	分類できない
急性毒性（吸入:気体）	:	区分に該当しない
急性毒性（吸入:蒸気）	:	区分に該当しない
急性毒性（吸入:粉塵ミスト）	:	分類できない
皮膚腐食性／刺激性	:	分類できない
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	:	分類できない
呼吸器感作性	:	分類できない
皮膚感作性	:	分類できない
生殖細胞変異原性	:	区分に該当しない
発がん性	:	区分1A
生殖毒性	:	分類できない
授乳への影響	:	分類できない
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	:	分類できない
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	:	区分に該当しない
誤えん有害性	:	分類できない

環境に対する有害性

水生環境有害性 短期（急性）	:	区分に該当しない
水生環境有害性 長期（慢性）	:	分類できない
オゾン層有害性	:	分類できない

【GHSラベル要素】

絵表示又はシンボル



注意喚起語 : 危険
 危険有害性情報 : 発がんのおそれ
 注意書き

安全対策 : 使用前に取扱説明書を入手すること。
 : 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
 : 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
 応急措置 : ばく露又はばく露の懸念がある場合 : 医師の診断/手当てを受けること。
 保管 : 施錠して保管すること。
 廃棄 : 内容物/容器を国際/国/都道府県/市町村の規則に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物

成分名	含有率(%)	CAS RN®	化審法
二酸化マンガン	<1	1313-13-9	1-475
硫酸クロム (I I I) (※原料の皮革粉が含有。有害性情報無し。)	<1	10101-53-8	1-287
三酸化二ホウ素	<1	1303-86-2	9-2403, 1-71
結晶質シリカ	<1	14808-60-7	1-548

4. 応急措置

吸入した場合 : 直ちに空気の新鮮な場所に移動させ、安静、保温に努め、速やかに医師の手当を受ける。
 皮膚に付着した場合 : 水で洗い流す。
 眼に入った場合 : 水で数分間洗浄ののち、痛みがある場合は直ちに眼科医の手当を受ける。
 飲み込んだ場合 : 水でよく口の中を洗浄する。可能であれば指をのどに差し込んで吐き出させ、直ちに医師の手当を受ける。

5. 火災時の措置

適切な消火剤 : 周辺の火災状況により、適切な消火剤を使用する。
 使ってはならない消火剤 : 情報なし
 火災時の特有の危険有害性 : 強熱すると悪臭を生じることがある。
 特有の消火方法 : 危険でなければ火災区域から容器を移動する。
 : 容器が熱に晒されているときは、移動しない。
 : 安全に対処できるならば着火源を除去すること。
 消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置 : 周辺火災に応じて適切な空気呼吸器、化学用保護衣を着用する。
 : 適切な空気呼吸器、防護服(耐熱性)を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項, 保護具及び緊急時措置 : 適切な保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用する。
 : 全ての着火源を取り除く。
 : 直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。
 : 関係者以外の立入りを禁止する。
 : 密閉された場所に立入る前に換気する。
 環境に対する注意事項 : 公共用水域に流出しないように留意する。

- 封じ込め及び浄化の方法及び機材 : シート等で覆いをして、飛散拡大の防止を図る。固体は掃き集めて回収する。
 : 危険でなければ漏れを止める。
 : 本製品が付着したものは、廃棄上の注意の項に従って廃棄する。
- 二次災害の防止策 : 床面に残るとすべる危険性があるため、こまめに処理する。
 : 環境規制に従って汚染された物体および場所をよく洗浄する。
 : すべての着火源を速やかに取除く（近傍での喫煙、火花や火炎の禁止）。
 : 河川・下水道等に流出し、環境汚染を起こさないよう注意する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

- 技術的対策 : 取扱いは、換気の良い場所で行うことが望ましい。必要に応じて適切な保護具を着用し、容器は丁寧に扱うこと。
- 安全取扱注意事項 : 消防法の規制に従う。
 : 炎や高温のものから遠ざけること。
- 接触回避 : 『10. 安定性及び反応性』を参照すること。
- 衛生対策 : この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。

保管

- 安全な保管条件 : 雨、直射日光と高温・高湿を避け、乾燥した換気の良い場所で保管すること。
 : 開封したまま放置すると吸湿して固結するおそれがあるので、使用後は密封して保管すること。
 : 消防法の規制に従う。
 : 換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。
- 安全な容器包装材料 : 破損や漏れの無い密閉可能な容器を使用する。

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度／許容濃度／濃度基準値

成分名	管理濃度	産業衛生学会	ACGIH	濃度基準値
二酸化マンガン	0.05mg/m ³	0.2mg/m ³	TWA:0.02mg/m ³ STEL:0.1mg/m ³	-
硫酸クロム（ⅠⅠⅠ）（※原料の皮革粉が含有。有害性情報無し。）	0.05mg/m ³	0.5mg/m ³	-	-
三酸化二ホウ素	-	-	TWA:10mg/m ³	-
結晶質シリカ	-	0.03mg/m ³	TWA:0.025mg/m ³	-

- 設備対策 : 作業場に手洗いの設備を設置し、位置を明確にしておく。
 : 作業場には適切な全体換気装置、局所排気装置を設置すること。

保護具

- 呼吸用保護具 : 呼吸用保護具（防じんマスク/防毒マスク）を着用すること。
- 手の保護具 : 不浸透性の保護手袋を着用すること。
- 眼、顔面の保護具 : 不浸透性の保護眼鏡を着用すること。
- 皮膚及び身体の保護具 : 不浸透性の保護衣、履物を着用すること。

9. 物理的及び化学的性質

- 物理状態 : ペレット
- 色 : 茶褐色
- 臭い : 有機臭
- 融点／凝固点 : 情報なし

沸点又は初留点及び沸騰範囲	: 情報なし
可燃性	: 情報なし
爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界	: 情報なし
引火点	: 情報なし
自然発火点	: 情報なし
分解温度	: 情報なし
pH	: 6.5-7.5
動粘性率	: 情報なし
溶解度	: 部分的に可溶
n-オクタノール／水分配係数 (log 値)	: 情報なし
蒸気圧	: 情報なし
密度及び／又は相対密度	: 0.73-0.83g/cm ³
相対ガス密度	: 情報なし
粒子特性	: 情報なし

10. 安定性及び反応性

反応性	: 通常取り扱い条件（常温）では安定。
化学的安定性	: 通常取り扱い条件（常温）では安定。
危険有害反応可能性	: 通常取り扱い条件下では危険有害反応を起こさない。 : 強アルカリ性資材との混用や加熱により、有害ガスを発生する可能性がある。
避けるべき条件	: 加熱・燃焼
混触危険物質	: 情報なし
危険有害な分解生成物	: 火災等の場合は、毒性の強い分解生成物が発生する可能性がある。

11. 有害性情報

急性毒性（経口）	情報なし
急性毒性（経皮）	情報なし
急性毒性（気体）	情報なし
急性毒性（蒸気）	情報なし
急性毒性（粉塵ミスト）	情報なし
皮膚腐食性／刺激性	情報なし
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	情報なし

呼吸器感作性

硫酸クロム（ⅠⅠⅠ）（※原料の皮革粉が含有。有害性情報無し。）

：区分1B 日本産業衛生学会許容濃度勧告では、クロム及びクロム化合物は気道感作性第2群に指定されており（産衛誌 58 (2016)）、GHS分類ガイダンス（平成25年度改訂版）に従えば、区分1Aとなる。しかし、上記勧告は、感作性分類基準（暫定）（平成22年5月26日）に基づき、疫学研究では必ずしも明確にされていない物質として、新たにクロム及びクロム化合物が気道感作性第2群に指定されており、区分1Aとするのは適切ではないと判断し、区分1Bとした。

皮膚感作性

硫酸クロム（ⅠⅠⅠ）（※原料の皮革粉が含有。有害性情報無し。）

：区分1A 日本産業衛生学会許容濃度勧告では、クロム及びクロム化合物は皮膚感作性第1群に指定されている（産衛誌 58 (2016)）。また、試験方法等の詳細が不明であるが、モルモットを用いた皮膚感作性試験において皮膚反応がみられ陽性結果が報告されている（CICAD 76 (2009)）。以上より、区分1Aとした。

生殖細胞変異原性

情報なし

発がん性

結晶質シリカ

：区分1A 多くの疫学研究結果において、本物質（石英）を含む結晶質シリカへの職業ばく露と肺がんリスクの増加との間に正の相関が認められており、特に複数の研究結果をプールし異なるメタ解析を行っても、相対リスクは一貫して有意な増加を示した（IARC 100C (2012)、SIDS (2013)）。すなわち、本物質の形状を有する結晶質シリカ粉じんの吸入ばく露によりヒトで肺がんの発症リスクが増加するのは十分な証拠があるとしている（IARC 100C (2012)）。一方、実験動物では雌雄ラットに本物質（空気力学的中央粒子径（MMAD）：1.3 μm）を1 mg/m³で2年間吸入ばく露した試験、また雌ラットに本物質（MMAD：2.24 μm）を12 mg/m³で83週間鼻部ばく露した試験において、ばく露群では肺腫瘍の有意な増加がみられ、組織型としては腺がんが多かった。さらに、雌ラットに本物質（MMAD：1.8 μm）を6.1、30.6 mg/m³で鼻部ばく露した試験でも、用量依存的に肺腫瘍の増加がみられ、組織型では扁平上皮がんが最多で、細気管支/肺胞上皮がん、又は腺腫も多くみられた（IARC 100c (2012)）。以上、ヒト及び実験動物での発がん性情報より、IARC は本物質粉じんばく露によるヒト発がん性に対し、1997年に「グループ 1」に分類し、2012年の再評価でも分類結果を変更していない（IARC 68 (1997)、IARC 100C (2012)）。他の国際機関による発がん性分類結果としては、日本産業衛生学会が「第1群」に（産衛学会勧告 (2015)）、ACGIHが2004年以降「A2」に（ACGIH (7th, 2006)）、NTPが結晶質シリカ（吸入性粒子径）に対して、「K」に分類している（NTP RoC (13th, 2014)）。よって、本項は区分1Aとした。

生殖毒性／授乳への影響 三酸化二ホウ素

： 区分1B 本物質自体の生殖毒性に関する情報はないが、ホウ素化合物としてホウ酸 (CAS番号 10043353) 及びホウ砂 (Na₂B₄O₇ · 10H₂O、CAS番号 1303964) の情報が利用可能と考えられる。すなわち、マウスにホウ酸を、ラットにホウ酸又はホウ砂を混餌投与した生殖毒性試験で、親動物に一般毒性影響がみられない用量で受精能の低下による不妊が認められた。交差交配試験の結果、マウスでは雄の受精能低下が不妊の原因であったが、ラットでは投与群の雌を対照群の雄と交配させた場合にも完全不妊がみられた (NITE初期リスク評価書 (2008)、ATSDR (2010))。一方、妊娠ラット又は妊娠マウスの器官形成期にホウ酸を混餌投与した複数の発生毒性試験において、母動物毒性 (体重増加抑制、摂餌量減少など) 発現量で胎児に奇形発生 (第13肋骨の欠損・短縮、側脳室の拡張など) の増加、胎児死亡率、新生児死亡率の増加がみられた (NITE初期リスク評価書 (2008)、ATSDR (2010))。妊娠ウサギの器官形成期にホウ酸を強制経口投与した試験でも母動物に体重の低下がみられる用量で心血管系奇形の増加及び胎児死亡率の増加が報告されている (NITE初期リスク評価書 (2008))。以上、本物質もホウ素化合物として、ホウ酸・ホウ砂と同様の生殖発生毒性を示す可能性が考えられ、区分1Bとした。なお、EUも本物質をRepr. 1B に分類している (ECHA CL Inventory (Access on May 2017))。

特定標的臓器毒性 (単回ばく露)
情報なし

特定標的臓器毒性 (反復ばく露)
情報なし

誤えん有害性
情報なし

1 2. 環境影響情報

生態毒性・魚毒性
情報なし

生態毒性・無脊椎動物毒性
情報なし

生態毒性・藻類毒性
情報なし

残留性・分解性
情報なし

生体蓄積性
情報なし

土壤中の移動性
情報なし

オゾン層有害性
情報なし

1 3. 廃棄上の注意

残余廃棄物
： 肥料として農作物に適量撒くか、廃棄物処理法に従って廃棄する。
： 関連法規ならびに地方自治体の基準に従い廃棄すること。
： 都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託する。

汚染容器及び包装
： 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去した後、廃棄物処理法及び関連法規ならびに地方自治体の基準に従い処理する。

14. 輸送上の注意

国連番号	: 情報なし
品名（国連輸送名）	: 情報なし
国連分類	: 情報なし
容器等級	: 情報なし
輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策	: 直射日光を避け、容器の破損・漏れ等の無いように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。雨天時は防水シート等で覆いをする。 : 『7. 取扱い及び保管上の注意』の記載に従うこと。
国内規制	
	陸上輸送 : 消防法、労働安全衛生法等に定められている運送方法に従う。
	海上輸送 : 船舶安全法に定められている運送方法に従う。
	航空輸送 : 航空法に定められている運送方法に従う

15. 適用法令

肥料の品質の確保等に関する法律	: 指定配合肥料
消防法	: 非危険物
化学物質把握管理促進法	: 非該当
毒物及び劇物取締法	: 非該当
労働安全衛生法	
第56条 製造許可物質	: 非該当
第57条 名称表示物質	: 結晶質シリカ
第57条の2 通知対象物質	: マンガン及びその無機化合物 : クロム及びその化合物 : 三酸化二ほう素 : 結晶質シリカ
第577条の2 がん原性物質	: 結晶質シリカ（石英）
第594条の2 皮膚等障害化学物質	: 硫酸クロム（ⅠⅠⅠ）
危険物	: 非該当
特定化学物質障害予防規則	: 非該当
鉛中毒予防規則	: 非該当
四アルキル鉛中毒予防規則	: 非該当
有機溶剤中毒予防規則	: 非該当
化学物質審査規制法	: 非該当

16. その他の情報

本SDSにおいて労働安全衛生法の通知対象物質の含有量が幅表示の場合は、営業秘密である場合を含みます。

この「安全データシート」は、当社の製品を適正にご使用頂くために必要で、注意しなければならない事項を簡潔にまとめたもので、通常の使用を対象としています。

全ての資料や文献を調査したわけではないため情報の漏れや、新しい知見の発見や従来の説の訂正により内容に変更が生じることがあります。

ここに記載された内容は当社所有の情報によるものであるが、情報の完全さを保証するものではありません。

又、法令の改正及び新しい知見に基づき改訂されることがあります。

重要な決定事項にご利用される場合は、出典等を良く検討されるか、試験によって確かめられることをお勧めします。

記載内容のうち、成分及び含有量、物理化学的性質などの値は、品質保証値ではありません。

本 SDS は、下記、大日本産肥株式会社の情報を元に作成しました。該当物質については、下記にお問い合わせください。

会社 : 大日本産肥株式会社

住所 : 福岡県北九州市門司区大字門司2732-4

担当部門 : 本社 営業部

電話番号 : 093-331-3321

FAX番号 : 093-331-7658

緊急時の電話番号 : 093-331-3321